



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第260号
2016年3月21日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

自然環境を生かし石亀池周辺の整備を

日本共産党市議団は、URが施工した吉橋、大和田新田地域の西八千代北部土地区画整理事業の地権者のみなさんと一緒に、3月16日、UR（都市再生機構）と国土交通省に対し交渉しました。交渉は事業の南部近隣公園の中に位置づけられている「石亀池」周辺の歩道建設を含め公園を作るための「粗造成」をURができるだけ行うことを求めたものです。「石亀池」周辺は整備が手つかずのまま、草は生え放題、雑木や竹類が無造作に生え、マムシの住処になっています。

地元住民から、2001年度にも、この場所は自然環境を生かし、遊歩道や安全柵など設置した公園として、URと八千代市に整備することを求めてきました。しかし、依然として放置されたままになっているために、早急に行なうよう強く求めました。

産業廃棄物埋め立て地の定期検査を

区画整理事業で建設したみどりが丘小学校の隣接地を都市再生機構と新京成が所有していますが、ここには多量の産業廃棄物が埋められたままになっています。みどりが丘小学校の地下5メートルにも産業廃棄物があり、いつ土壌汚染によって子どもたちへの健康被害が発生するかわかりません。URは土壌汚染への不安を解消するために、産廃埋立地の定期的検査をすべきと訴えました。しかしURは検査するとは明確に答えませんでした。

また、みどりが丘小学校の隣接地は、雑草が生い茂り煙草などの火で火災にでもなったら大変と不安の声が寄せられています。所有地を適切に管理して、近隣住民の不安を一刻も早く解消するよう強く要望しましたが、抜本的な解決策は示されませんでした。

住民の声を聞いて安心・安全な街づくりを

西八千代北部土地区画整理事業は、URと八千代市が、八千代緑が丘駅周辺から北に大和田新田と吉橋地域にかかる140畝に1万4千人が住む街にするというかつてない大規模な造成計画です。事業は2002年から開始し来年度までに終了させる予定ですが、数度にわたって延長を繰り返し市の負担は100億円を超えました。当初計画にあった成田街道バイパス建設が中止となり、消防署、支所、中学校の建設予定もないなど、計画通りに人口が増える見込みのないずさんな事業計画です。



国と市は住民が安全にくらせる生活環境をつくる責任があります。住民に不安をもたらしている問題は、国・URと市が計画した西八千代北部土地区画整理事業に起因しています。URは法的な「瑕疵」がないとして、八千代市の問題だと逃げています。

国・UR、市は、住民の不安を正面から受け止め、安心して安全な住みやすい街づくりをするよう強く主張しました。